

佐賀県

みんなで読もう オススメ本

佐賀県立図書館 もり
ココロざしの森 から
 イラストレーター
ちえちひろさんの
オススメ本! 第10回



このコーナーでは、
 県内の著名人がおすすめする児童書の魅力を、
 直筆の推薦文とともに紹介します。



おふろだいすき



おふろがすきな子も、キライな子も、
 きっとたのしめるえほんです。
 こんなふしぎでたのしいこぼって
 じつは、まいにちのすこそばに
 かくれているのかもしれません。



『おふろだいすき』
 作/ 松岡享子 絵/ 林明子
 福音館書店

ぼくはおふろが大好きです。ぼくはいつもあひるのプッカをつけて入ります。お湯でからだを流したら、プッカと一緒ににお湯に入ります。「あつくもないし、ぬるくもないし、ちょうどいいかげん。」ぼくがからだを洗っていると、ざあーっと湯ぶねからカメが現れました。すると、ペンギン、オットセイやカバ、クジラまで現れました……。子どもの空想の世界を、楽しいおふろ時間でのびのびと描いた絵本です。



ドリトル先生 アフリカゆき

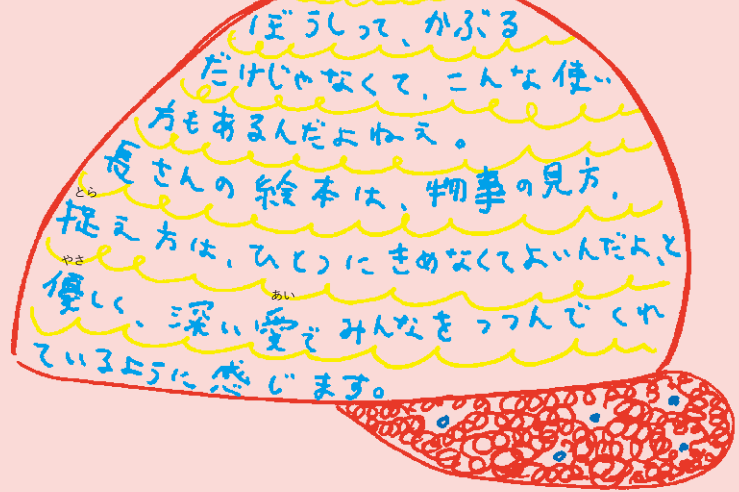
どうぶつとはなしかできる
 ドリトル先生と先生のかぞくで
 あるどうぶつたちのたびでは、
 おかしなことや、たいへんなことがいっぱい
 おきます。でも、人間とはなしかできない
 どうぶつのことををうぞうして、
 こうどうすると、人間は、もっとかしく、
 ゆたかに生きられるのだとあしえてくれる
 すばらしい、とってもおもしろいほんです。

『ドリトル先生アフリカゆき』 作/ ヒュー・ロフティンク
 訳/ 井伏鱒二 岩波少年文庫



「沼のほとりのパドルビー」に住む名医ドリトル先生は、オウムのポリネシアから動物のことばを習い、世界中の動物たちから敬愛されています。そんなある日……アフリカのサルの国から、ひどい疫病が流行しているから救ってほしいという訴えを受けた先生は、アヒルのダブダブや犬のジップ、ブタのガブガブらをひきつけて冒険の航海に出発します。作者の手になるさし絵がまた楽しいです。ドリトル先生物語の第1作目。

ぼうし



『どうぶつあかちゃんえほん ぼうし』
 作/ 長新太 のら書店

これは、どこかからとんできたぼうしを、次から次へ、勝手にみんな(動物たち)が、ためしにかぶってみる—そんな絵本です。絵本のページをめくるとき、ぼうしが、「スーッ」と飛んでいくところ、あるいはぼうしが「コロコロ」と、ころがっていくところを空想してください。そうして次のページを見てください。



ちえちひろさんってどんな人?

ちえちひろ 千絵さんと千尋さんの姉妹ユニット。佐賀県生まれ佐賀在住。絵本、イラスト、やきものを製作。千絵さんはロンドン芸術大学キャンパーウェル・カレッジ・オブ・アーツ イラスト科を首席で卒業。絵本『ポンチ』『ぐらぐらたん』『ゆかいなおやさいむら やまのおなか』などを出版。



佐賀県立図書館「ココロざしの森」では、このコーナーで紹介した児童書と推薦文を展示しています!

